

九州の星
Star of Kyushu

| 65 |

頑張るあなたを
応援するコーナーです

健康を考えた

薬膳カレーを食べて

心も身体も元気に。



バングラデシュの雑貨とカレーの店ハイダル 店主



母国の無医村に病院を建設

バングラデシュ出身のハイダルさんが日本に来たのは21年前。情報技術（IT）を学ぶために関東の大学に入学した。卒業後は福岡出身の友人に誘われて福岡に移住し、「母国の無医村に病院を建てたい」とNPO法人を立ち上げ、手工芸品のフェア・トレードを始めた。

イベントで出していた薬膳カレーが評判になり、2010年9月、福岡市中央区警固にカレー店を開業。病院建設の活動はその後も続け、2017年5月、母国のロトラ村に念願の病院を開院させた。「たくさんの方から支援を受けて、夢を叶えることができました。今後も病院の運営を続け、村人の健康な生活を守っていきます」

今年に入り、福岡県で2回目の緊急事態宣言が発令された際、ハイダルさんは福岡市内の新型コロナウイルスに対応する医療施設に「ハイダルの特製薬膳カレー」を約90食分、無償提供した。

「きっかけは常連客の医師からコロナ対応で食事も充分にとれないという実情を聞いたから。食の面から医療従事者を支えたいと思いました」

ハイダルさんにとって、カレーは母の味。「体調や気分ですパイスを自由にブレンドし、食べる人の健康を考えたカレーです。母国から取り寄せた16種類のスパイスとハーブを使っています。薬膳カレーを食べて元気になってください」

モハメド ズルフィカル ハイダル

MD.ZULFIQUR HYDER

バングラデシュの雑貨とカレーの店
ハイダル 店主
特定非営利活動法人
KETOY.JP 理事長



▲店で提供される薬膳カレー



▲母国のロトラ村に建てた病院